

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

北海道札幌市 札幌病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員 民間企業出身 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	37	対象	透I未訓方	救臨が感災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
1,961,575	62,339	非該当	非該当	7：1

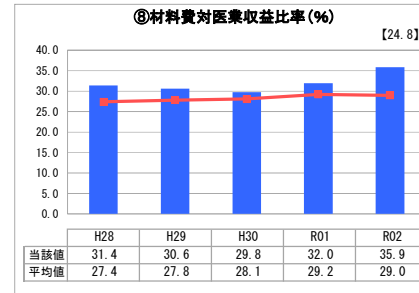
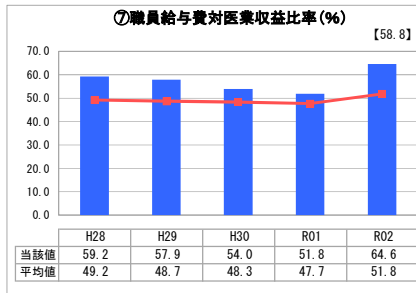
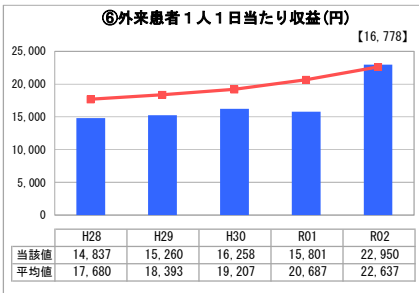
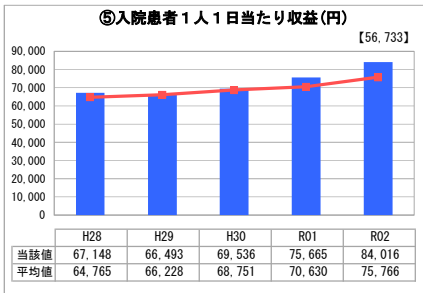
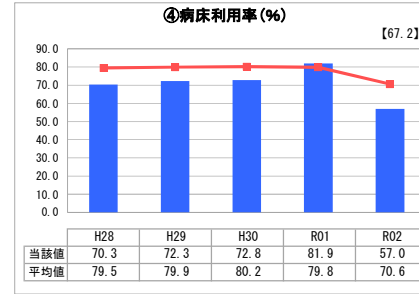
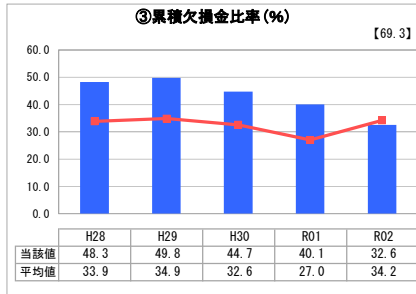
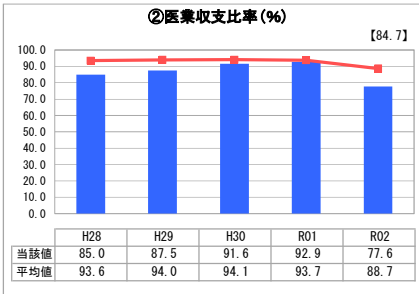
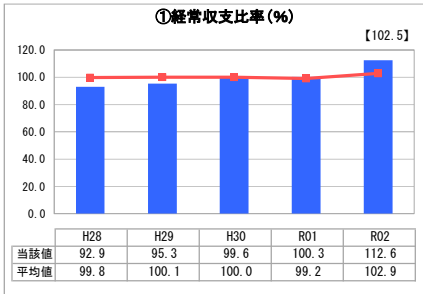
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

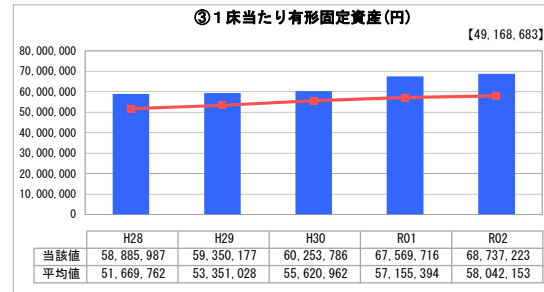
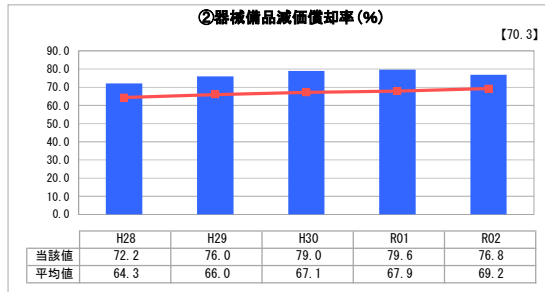
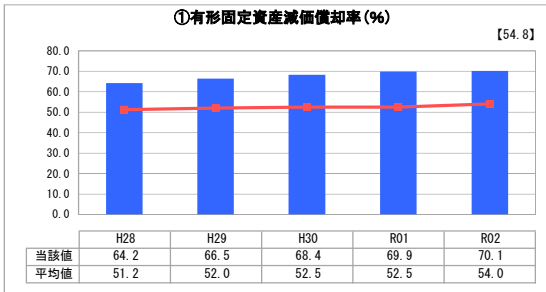
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
626	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
38	8	672
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
626	-	626

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

## I 地域において担っている役割

市民のため、「最後のとりで」として地域の医療機関を支える。

- ・救急医療、災害医療、周産期医療、小児医療や精神科救急などの民間の医療機関のみで担うには限界のある医療など、政策的な医療を担う
- ・高度急性期病院・地域医療支援病院として地域の医療機関を支える
- ・北海道・札幌市の将来の医療を担う人材を育成する

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ・新型コロナウイルス感染症患者受入れの影響により、医業収支比率や病床利用率は大きく減少した。
- ・感染症病床確保促進事業等の補助金収入により、経常収支比率は上昇し、累積欠損金比率は減少した。
- ・新型コロナウイルス感染症の特例として診療報酬の加算があったことや、急性期以外の患者の減少により、外来化学療法など高度な治療を必要とする患者の割合が高くなったことから、1日1人当たり収益は増加した。

### 2. 老朽化の状況について

- ・建築から20年以上が経過し、有形固定資産減価償却率、器械備品減価償却率ともに高い数値となっていることから、計画的な施設の更新等を検討していく必要がある。

## 全体総括

- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症患者の受入れが経営状況に大きく影響した。
- ・同感染症の終息後に備え、令和元年度に策定した「市立札幌病院中期経営計画」に基づいた取り組みを実施し、引き続き経営の改善を図っていく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。